



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社 精工技研
コード番号 6834 URL <https://www.seikoh-giken.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上野 昌利

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部長 (氏名) 斎藤 祐司

TEL 047-388-6401

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,583	9.0	22	90.3	111	65.0	31	86.2
2023年3月期第1四半期	3,936	10.1	227	17.7	319	60.9	229	133.1

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 171百万円 (70.8%) 2023年3月期第1四半期 589百万円 (60.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	3.48	
2023年3月期第1四半期	25.15	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	30,910	26,180	84.6	2,867.07
2023年3月期	31,342	26,475	84.4	2,898.91

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 26,156百万円 2023年3月期 26,447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		50.00	50.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,720	10.0	40	94.4	200	77.0	100	84.6	10.96
通期	16,350	0.4	510	63.3	690	57.1	500	53.8	54.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	9,333,654 株	2023年3月期	9,333,654 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	210,504 株	2023年3月期	210,504 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	9,123,150 株	2023年3月期1Q	9,123,155 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、総じて回復スピードが弱まることとなりました。欧米各国では、物価の高騰が個人消費の下押し圧力となっており、また企業の生産活動や設備投資も、国内外の需要減少や金利の上昇等を背景に減速感が強まっています。中国ではゼロコロナ政策の解除により国内消費が回復基調で推移していますが、企業の生産や輸出はIT関連製品を中心に減少傾向にあります。我が国においては、活動制限の緩和や円安の影響でインバウンド需要が回復しており、非製造業の業況が改善しています。一方、製造業の収益環境は、海外経済の減速、原材料やエネルギー価格の高騰等が重石となり、回復速度が鈍化することとなりました。

当社グループが関わる情報通信・エレクトロニクス関連市場においては、半導体の安定確保や競争力強化に向けた投資が世界各国で積極的に進められました。また「ChatGPT」に代表される生成AIのアプリケーションが流通し、その効果的な活用方法に関する議論が注目を集めました。自動車関連市場においては、半導体材料の供給不足がやや緩和し、自動車の生産台数が増加傾向にあります。一方では電気自動車の生産拡大に向けた経営資源のシフトや、自動運転レベルの高度化に向けた技術開発が進むこととなりました。

こうした中で当社グループは、進行中の中期経営計画『マスタープラン2022』に基づき、「顧客接点の活性化」、「新製品・新技術開発の加速」、「ものづくり力の強化」、「経営基盤の強化」の各施策の遂行に努めました。

「顧客接点の活性化」に向けては、精機事業、光製品事業の両セグメントにおいて、展示会への出展やホームページの活用等を通じて新しい顧客と出会う機会を数多く作り、商談数を増やすことに注力しました。

「新製品・新技術開発の加速」に向けては、より幅広い領域で社会の進歩発展に貢献できる企業グループとなるべく、引き続き技術力の研鑽に取り組みました。

「ものづくり力の強化」に向けては、電力費や材料費の増加傾向が続く中、継続的に安定した購買活動を行えるよう取引先との関係強化に努めると共に、生産工程の一部について自動製造装置を社内で開発し、生産効率の向上を図りました。

「経営基盤の強化」に向けては、前連結会計年度に新設した「サステナビリティ推進室」を中心に、温室効果ガスの排出削減活動に取り組みました。併せて、ペーパーレス化の推進やクラウドの活用等を通して、有事の際にも事業活動を継続できる体制の構築と業務効率の向上にも取り組みました。

こうした結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、3,583,230千円（前年同四半期比9.0%減）となりました。売上高の減少に伴い、営業利益は22,116千円（前年同四半期比90.3%減）となりました。経常利益は、為替差益や投資不動産賃貸料等の営業外収益を計上した結果111,812千円（前年同四半期比65.0%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は31,757千円（前年同四半期比86.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 精機関連

精機関連では、自動車向けや電子機器向けの精密成形品や、成形品を効率的に量産するための高品質な金型、高い寸法精度が要求される金属部品等を顧客に提供しております。当第1四半期連結累計期間は、自動車の生産台数が回復基調に転じたものの、市中の在庫が先行して消費され、自動車の各種センサーに搭載されるインサート成形品の売上高は伸び悩むこととなりました。また、電子機器向けの金属プレス成形品も、スマートフォンの需要が回復せず、売上高が減少することとなりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の精機関連の売上高は1,840,128千円（前年同四半期比7.6%減）となりました。売上高の減少に伴い、営業損益は16,614千円の営業損失（前年同四半期は56,242千円の営業利益）となりました。

② 光製品関連

光製品関連では、光通信用部品や同部品の製造工程、検査工程で使用する機器・装置、光電界センサーや光伝送装置、超小型樹脂レンズ等を顧客に提供しております。光通信関連市場は、リモートワークやWEB会議等の増加に伴って拡大が続いていましたが、前連結会計年度の中旬以降、新型コロナウイルスの沈静化と共にプレーキがかかることとなりました。これにより光通信インフラやデータセンターに係る新規投資が低調に推移しており、光通信用部品の売上高が減少することとなりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の光製品関連の売上高は1,743,102千円（前年同四半期比10.4%減）となりました。売上高の減少に伴い、営業利益は38,731千円（前年同四半期比77.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は30,910,351千円となり、前連結会計年度末から432,499千円減少いたしました。流動資産は21,336,567千円となり、前連結会計年度末から422,088千円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したこと等に因ります。固定資産は9,573,783千円となり、前連結会計年度末から10,410千円減少いたしました。その主な要因は、建物及び構築物、機械装置及び運搬具、のれん等の減価償却が進んだこと等に因ります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は4,729,498千円となり、前連結会計年度末から137,631千円減少いたしました。その主な要因は、未払法人税等が減少したこと等に因ります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は26,180,852千円となり、前連結会計年度末から294,867千円減少いたしました。その主な要因は、利益剰余金が減少したこと等に因ります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の実績及び今後の市場環境の見通し等を踏まえ、2023年5月12日に公表した予想値を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2023年8月10日)公表いたしました「第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,445,178	12,941,698
受取手形及び売掛金	3,659,678	3,532,979
電子記録債権	580,006	570,433
商品及び製品	890,247	819,133
仕掛品	1,447,017	1,678,934
原材料及び貯蔵品	1,387,173	1,380,502
未収還付法人税等	18,678	91,923
その他	333,003	323,321
貸倒引当金	△2,326	△2,359
流動資産合計	21,758,656	21,336,567
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,545,201	7,610,953
減価償却累計額	△4,798,833	△4,864,815
建物及び構築物（純額）	2,746,367	2,746,138
機械装置及び運搬具	7,352,398	7,399,095
減価償却累計額	△5,589,430	△5,700,047
機械装置及び運搬具（純額）	1,762,967	1,699,047
土地	2,670,031	2,670,343
建設仮勘定	130,477	130,776
その他	4,124,068	4,189,001
減価償却累計額	△3,282,395	△3,348,631
その他（純額）	841,672	840,370
有形固定資産合計	8,151,517	8,086,676
無形固定資産		
のれん	163,870	109,834
顧客関連資産	11,204	—
その他	29,854	26,140
無形固定資産合計	204,930	135,975
投資その他の資産		
投資有価証券	76,191	80,822
投資不動産	873,209	872,498
その他	278,344	397,810
投資その他の資産合計	1,227,746	1,351,131
固定資産合計	9,584,194	9,573,783
資産合計	31,342,850	30,910,351

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,663,291	1,640,687
未払法人税等	220,107	86,475
賞与引当金	105,254	157,401
その他	1,322,628	1,245,163
流動負債合計	3,311,281	3,129,727
固定負債		
退職給付に係る負債	1,020,474	1,031,552
役員株式給付引当金	163,937	188,588
長期未払金	144,870	144,870
長期預り敷金	19,037	19,037
繰延税金負債	51,438	57,477
その他	156,091	158,245
固定負債合計	1,555,848	1,599,771
負債合計	4,867,130	4,729,498
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,791,682	6,791,682
資本剰余金	10,607,500	10,607,500
利益剰余金	8,482,991	8,052,752
自己株式	△538,872	△538,872
株主資本合計	25,343,302	24,913,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,396	18,512
為替換算調整勘定	1,114,378	1,247,436
退職給付に係る調整累計額	△25,865	△22,313
その他の包括利益累計額合計	1,103,910	1,243,635
非支配株主持分	28,507	24,153
純資産合計	26,475,719	26,180,852
負債純資産合計	31,342,850	30,910,351

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	3,936,467	3,583,230
売上原価	2,707,645	2,601,389
売上総利益	1,228,821	981,841
販売費及び一般管理費	1,000,927	959,724
営業利益	227,894	22,116
営業外収益		
受取利息	1,021	5,593
受取配当金	467	521
補助金収入	37	2,444
助成金収入	200	700
投資不動産賃貸料	17,058	16,725
持分法による投資利益	423	—
為替差益	73,553	57,465
その他	5,900	11,096
営業外収益合計	98,661	94,546
営業外費用		
不動産賃貸原価	3,848	3,676
持分法による投資損失	—	303
その他	3,083	871
営業外費用合計	6,931	4,851
経常利益	319,625	111,812
特別利益		
固定資産売却益	—	1,644
投資有価証券売却益	—	1,747
特別利益合計	—	3,392
特別損失		
固定資産売却損	394	33
特別損失合計	394	33
税金等調整前四半期純利益	319,230	115,170
法人税、住民税及び事業税	123,616	101,792
法人税等調整額	△34,881	△18,878
法人税等合計	88,735	82,913
四半期純利益	230,495	32,257
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,021	499
親会社株主に帰属する四半期純利益	229,474	31,757

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	230,495	32,257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,761	3,115
為替換算調整勘定	358,687	133,058
退職給付に係る調整額	3,041	3,551
その他の包括利益合計	358,967	139,725
四半期包括利益	589,463	171,982
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	587,447	170,797
非支配株主に係る四半期包括利益	2,015	1,185

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	精機関連	光製品関連	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,991,176	1,945,290	3,936,467
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,713	120	15,833
計	2,006,889	1,945,410	3,952,300
セグメント利益	56,242	171,651	227,894

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	精機関連	光製品関連	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,840,128	1,743,102	3,583,230
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,048	—	13,048
計	1,853,177	1,743,102	3,596,279
セグメント利益 又は損失(△)	△16,614	38,731	22,116

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。